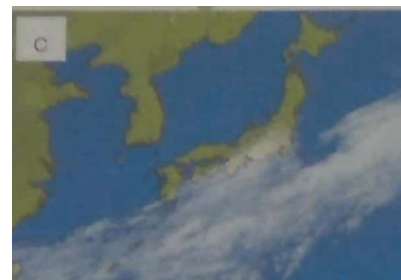


5月31日（水）、5年1組で理科専科教員による努力点公開授業が行われました。

単元は「天気と情報〔1〕」です。ねらいは、学んだことを生かして、天気を判断・予想し、その理由を説明できるようにすることです。

下の3枚の雲画像を見てください。これは、春の3日間の正午の雲画像です。児童は、本単元を通して、雲の形や動き、天気について学習してきました。今回の授業では、この3枚の雲画像を日にちの順に正しく並べ替え、さらに4日目の天気を予想するという活動を行いました。



児童には、Aの雲画像と、3日分の雨雲レーダーを配布しました。教師が、「雲が集まっているところを指差ししましょう」と言いました。そして、Aの雲画像が、どの雨雲レーダーと合うのかを考えさせました。指差しをさせることで、日本の東側に雲が集まっていることに気付かせ、雨が降る地域を確認させることができました。そこで、教師が、「隣の友達と選んだものを伝えましょう。選んだ理由も言いましょう」と、「話すこと」を意識させました。



【理由を説明し合う児童】

その後、新たに2枚の雲画像カードを配布しました。それぞれの雲画像と雨雲レーダーを一致させ、日にちの順に並べます。まず自分で考えた後、友達と考えを伝え合いました。もちろん、理由も合わせて説明するようにさせました。児童は、カードを指差しながら説明をしていました。雲の位置と降雨の様子を比べる児童もいれば、雲の量と雨量を比べる児童もいました。そして、雲の位置や雨が降る地域が、だんだん東に動いていくことを確認しました。

最後に、4日目の雲の位置と名古屋市の天気を考えさせました。児童は、雲が東に抜けていくことから名古屋市は晴天になると判断しました。

児童に「話したいこと」がないと、話し合い活動になりません。そのため、今回の授業では、一人一人に資料を配ったり、注目してほしいところに指差しさせたりして、考えをもたせる工夫をしました。今後は、自分の考えを話すだけでなく、友達の考えを質問によって聞き出したり、友達の発言を自分の考えと比べながら聞いたりすることができるような工夫を考えていきたいです。